

Frente

vol.21

2005.6

フレンテ フレンテとはスペイン語で「前向き」という意味です。

キヤッチコピー大賞作品決定！
認め合い

個性がキラリ！参画社会

フレンテみえ活動開始！

チャレンジし続けます！救急救命士資格に挑戦

三重県男女共同参画基本計画

第二次実施計画って何だろう？

市町村からこんにちは く伊賀市く

衣替えした情報誌 Frente

巻頭エッセイ始まりました

仕事と家庭のバランス、とれていますか？

巻頭エッセイ Essay

ワーク・ライフ・バランス



執筆者紹介



中村 彰さん

メンズセンター運営委員長。
専門分野は、男性学、ジェンダー論、メンズリブ、男女共同参画プラン、文化人類学。
現在、相愛大学非常勤講師、花園大学非常勤講師、大阪市立大学非常勤講師を務められています。

私は大学を卒業後、50歳まで新聞社で働いてきた。新聞社にいたころ、職場の上司との間で、部下の私がいろいろなものを背負い込み鬱状態になったとき、妻にその状態を晒さず強い男を演じる私があった。

朝、職場になかなか入れず、終業時間になっても、どこかで自分の気持ちを安らかにしてから帰っていた。

そういう私の姿を他人には喋るのに、妻には喋れない自分がいて、私のなかで「男って何」と問い直すきっかけとなった。

仕事を辞めた後、元同僚から、かつての職場仲間Aさんが定年を待たずに亡くなったことを知らされた。

私が在職中に、Aさんから、彼が定年後にしたいことを聞いたことがあったので、仕事の上では満足しても、先送りしていたやりたいことを実現しないままに旅立たれたのだと思った。

厳しい経済情勢のなか、定年退職者の人数分を補充せずに少人数であるため、一人の負担量が増えるし、私のような途中退職者分も誰かが負担する。

私が辞めた7年前もマスコミ業界で過労死が多発し、日本新聞労働組合連合のニュースレターでも全国各地の過労死状況が紹介されるなか、仕事のことを考えた。

比叡山延暦寺で仏教文化講座事業を手伝ったとき、尿道結石だと判った。体内から石を取り除かないまま、2泊3日の日程で延暦寺に籠もることに不安を感じた。石が出るまで、きつい痛みを繰り返すと医者から聞き、「比叡山で深夜に痛みがでたらいやだな」という思いが強まり、上司に相談をした。上司に比叡山上と街中の仕事との交

換を訴えると、もう一人付けると言い出した。上司がとった処置は、仕事に滞りのないようにする手立はあるけれど、一人の人間の健康管理としてはどうかと思った。

高熱を出した時も「這ってでも出て来られないか」と電話してきたり、高熱と頭痛で苦しんでいるときも「クレーム処理をしろ」と相手先の電話番号を通知されたりした。仕事の処置だけに目がいつていると感じた。

マスコミは大事件があると、どんな時間帯でも現場に誰かが張り付いているが、いつもメンバーチェンジ等でうまく休息を取れる体制ができていくか気になる。

「仕事漬け」を当たり前のように思い、プライベートに対する配慮が無いのは問題があり、仕事と他の世界とのバランスを考える職場環境ではなかった。

自己紹介をする時、今の自分を話すことから自分語りを始めるのが一般的だと思うが、高齢の男性ばかりが参加する市民講座で、参加者たちはリタイア前の職制で名乗った。

仕事に励んだ現役時の自分を評価しても、老後の今の自分は「用無し人間」だと思ってしまう。そのように世間がレッテルを貼っていると理解している。

「年老いたから遠慮する、もういい」ではなく、その時その時を精一杯に生きることが大切だ。

今、「ワーク・ライフ・バランス」とよく言われているが、仕事と家庭・地域・趣味などにかかわる時間がバランスよく保たれることが大切なのだ。



企画・運営サポーター活動開始

フレンテみえには、素敵なパートナーがいます。
その名は「企画・運営サポーター」。現在、男女あわせて13名。県内各地から集まったメンバーの顔ぶれは様々です。

今年度の活動に先駆けて、4月3日(日)に最初の会議を行いました。

フレンテみえの職員からの事業説明の後、意見交換を行い、「フレンテみえ情報コーナーの使い方」などを中心に、今後の事業展開について活発に話し合いました。

その後、参画する事業を選んでいただき、それぞれの事業で今年度の活動が始まりました。

フレンテみえの事業には、サポーターのアイデアや実践力が活かされています。



企画・運営サポーターのマーク。
三重県総合文化センターのMMマークを使用して、サポーターさんがデザインしました。

企画・運営サポーターとは…

職員と一緒に考え、フレンテみえの事業の企画・運営を行います。「できることをできる時間に」をテーマに「いつでも・なんでも」「休日だけ」「家で」「運営だけ」など希望に合った幅広い活動をしています。

登録団体代表者のつどい

フレンテみえには登録団体が155団体(平成17年5月現在)あります。

登録団体間のつながりを目的として、毎年、担当を2団体決め、自主企画・運営で「登録団体代表者のつどい」、「フレンテまつり」、「登録団体のつどい」を開催しています。

今年度の担当団体は、昨年度から引き続いての「津アイリス」さんと、今年初担当の「津友の会」さんです。

4月23日(土)に「登録団体代表者のつどい」が行われ、「津友の会」さんの司会進行の中、参加団体の活動紹介を行いました。そして、今年度の「フレンテまつり」について、意見交換をしました。その後、「フレンテまつり実行委員会」を立ち上げ、実施に向けて、団体間の連携をとりながら進めていきました。

「フレンテまつり」は6月17、18日に行われ、たくさんの団体が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。



担当団体「津友の会」さん

フレンテみえ登録団体とは…

男女共同参画社会の実現に向け、情報の共有や活動を支援するために、団体の登録を実施しています。登録団体には、チラシ・情報誌の送付、活動スペースの貸出、広報支援、託児支援などを行っております。登録団体の方からは、フレンテみえの事業への参加などたくさんのご協力をいただいております。



藤田美佐子さん

四日市市中消防署 救急係消防士長

どんなまでもチャレンジし続けます！

◆藤田美佐子さん
平成8年入庁、平成15年に救急隊配属。
平成17年9月から名古屋市救急救命士養成所へ入所予定。

四日市市消防本部職員の総数292名のうち女性は6名。その内の一人、藤田さんは救急隊員としてハードな毎日を送っています。しかしその姿は、はつらつと前向き。来年3月に救急救命士の国家試験にチャレンジします。県内、消防吏員初の女性救急救命士の誕生は間もなくです。

***この仕事に就いたきっかけは何ですか？また、その時の周囲の反応は？環境面での変化はありましたか？**

体を動かす現場の仕事がしたいと思っていましたが、それがやっとかなえられたのは入庁して7年後。家族や職場の男性も応援してくれました。体力では男性にかなわない不安はありましたが、メンタルなケアによって不足分を補えばいいと思っています。また、施設も年々改善されています。女性用トイレが設置され、仮眠室が個室になりました。

***今まで救急活動をしてきたなかで、印象的な経験、心に残るエピソード等がありますか？**

ある交通事故で女性を救出しました。事故のショックでかなり気が動転し、男性隊員に触られたくないと救助を拒まれましたが、私が声をかけると、安心されたのが無事救

出できました。その後、「女性がいたことで我に返り、大変助かった」とお礼の電話をいただきました。

***これから救急救命士の資格にチャレンジされるわけですが、その動機は何ですか？**

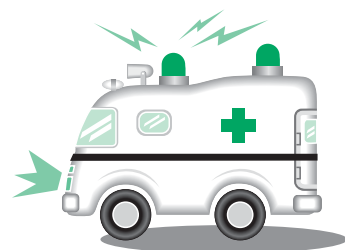
現場での人々とのふれあいはかけがえないもので、とてもやりがいのある仕事だと感じています。先輩は四日市市で女性初の救急隊員の道を開いてくださったので、今度は私が救急救命士という道を開いていきたい。きっと後輩の女性たちも、また新しい道を開いてくれるでしょう。

***これからの目標をお聞かせください。**

まずは救急救命士の資格を取ることですが、どんどん次に向かっていきたいです。現場の経験を生かして、緊急の通報を受ける指令課に勤務したいという思いもあります。以前は、電話に出ると「男性に替われ」と言われたこともありましたが、「女性だから、男性だから」という枠を取り払って行って、「自分らしさ」を発揮していきたいです。

***頑張っている三重県の女性の一人として、読者の方々にメッセージ/アピールをお願いします。**

地道にコツコツと努力すれば、いつかは実になる。それを信じて、あきらめたり、めげたりせずに頑張りたいと思います。



●救急救命士とは・・・

現場や搬送の間、救急隊員が行うことのできる救命処置を定めた国家資格。有資格者は医師の指示のもと、除細動、気管内チューブによる気道確保などの救急救命処置が行えます。

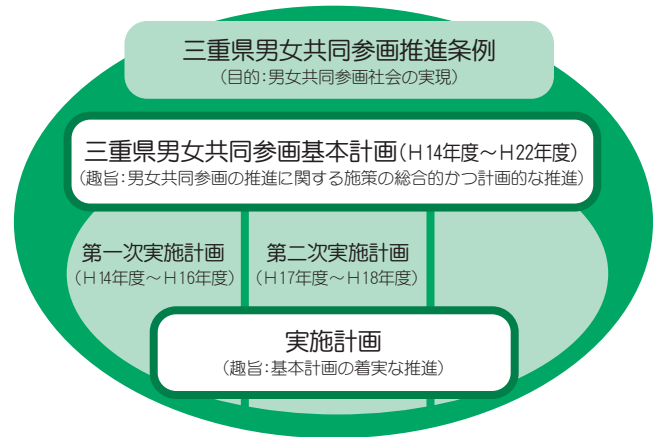
●三重県の消防吏員

三重県では、総消防吏員数2,293人、その内女性は11人。津市、四日市市、桑名市、松阪地区広域消防組合で活躍されています。(平成16年4月現在)

三重県男女共同参画基本計画 第二次実施計画が策定されました

三重県では、一人ひとりが性別にかかわらず、自立した個人として、その能力と個性が十分発揮できる男女共同参画社会の実現をめざして、平成13年1月に三重県男女共同参画推進条例を制定し、平成14年3月には三重県男女共同参画基本計画を施行しました。

第二次実施計画は、この基本計画を着実に推進するため、県の実施する施策について、具体的な目標や事業を掲げたものであり、第一次実施計画に引き続き平成17年3月に策定したものです。



期間と目標を定めて取り組みます！

第二次実施計画の概要

●計画期間は？

平成17年度から平成18年度までの2年間

●目標の設定は？

計画の円滑な推進を図るため、数値目標を設定し、適切な進行管理を行います。第二次実施計画では、「基本施策の指標」7項目、「第二次実施計画の目標」49項目を設定しています。

例えば

* 男女共同参画意識普及度：性別による固定的な役割分担意識の一つである「男は仕事、女は家庭」という考え方に対し、「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」と思う人の割合。(県民意識基礎調査)

第二次実施計画に設定された指標(抜粋)

目標項目	現状値	目標値
* 男女共同参画意識普及度	(2003年度) 60.0%	(2009年度) 66.0%

目標のひとつである男女共同参画意識普及度については、第1次実施計画での目標59.0%を達成しました。しかし、性別による固定的な役割分担意識を有する人の割合は、現在においても高い傾向にあり、男女共同参画に関する意識の普及に一層力を入れる必要があります。このため、第二次実施計画では、男女共同参画意識普及度を66.0%に引き上げることを目標に設定し、取組を行うこととしています。

こんなことに取り組みます！

重点的に取り組む事項

男女共同参画社会の実現のためには、地域における取組が不可欠です。第二次実施計画では、県民、NPO、事業者や市町村等の多様な主体と連携・協働して、地域における男女共同参画の取組を推進するため、次のような事項を重点的に実施します。



「三重県男女共同参画基本計画等二次実施計画」については、フレンテみえホームページ「参画ゼミ」でもさらに詳しく掲載しています。

【詳細についての問合せ】

三重県生活部男女共同参画室

TEL: 059-224-2225

男女共同参画意識の普及と学習機会の充実

市町村やNPO等と協働しながら、様々な機会を捉えて意識の普及に努めます。

男女共同参画の視点で進める地域づくりの推進

男女共同参画の地域づくりを進める組織を地域ごとに設置し、地域特性を生かした取組を支援します。

市町村との連携強化と事業者に向けての働きかけ

市町村の取組を積極的に支援するとともに、事業者の参画や取組に向けた働きかけを行います。

地域における主体的・自主的な取組の支援

人材の育成・確保、市町村の円滑な事業展開に向けた支援を行います。

●伊賀市の男女共同参画推進状況は？

昨年11月に合併して、伊賀市が誕生しました。合併と同時に旧上野市の条例をもとに「伊賀市男女共同参画推進条例」を施行しました。昨年度は伊賀市全域で「男女共同参画に関する意識調査」を実施し、その結果等をもとにして今年度は「伊賀市男女共同参画基本計画」(仮称)の策定に向けて取り組んでいます。素案ができ次第、パブリックコメントを実施し、多くの皆様のご意見を反映させていきたいと考えています。

●今後の展望

昨年度実施の『意識調査』結果では「固定的な性別役割分担」を否定しない人が6割弱占めていて、当地域の男女共同参画社会実現に向けての意識改革を、粘り強く、時間をかけて、市民の皆様との共同で推進していく必要があります。

●PR

フォーラム「いきいき未来いが」は、平成9年度から当地域のネットワーク会議との共催で実施しています。去る2月6日(日)の開催では瀬地山(せちやま)角(かく)さんの講演と健康、子育て、木工の分科会、展示等を行い、多くの方々にお越しいただき満場でした。今年も2月に実施する予定ですので、皆様のご参加をよろしくお願ひします。



▲フォーラム「いきいき未来いが」での瀬地山角^{せちやまかく}さんの講演の様子



今年は、「女子差別撤廃条約」批准、「男女雇用機会均等法」の公布から20年と節目の年にあたります。ここでは全3回にわたって「女子差別撤廃条約」にスポットを当てます。

「『女子差別撤廃条約』なんて私には関係ない」と思われるかもしれませんが、しかし、日本でも女性であるために能力を活かしきれなかったり、生き方まで決められてしまった時代が長く続いていました。そうした差別を無くし、すべての女性がもっと自分らしく生きられるようにと、この条約が批准されました。正式名称は「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」といいます。

「女子差別撤廃条約」は、1979年の国連総会で、130カ国の賛成を得て採択されました。差別の禁止と人権および基本的自由の尊重は、国際的な基本理念(国連憲章第1条3)であり、とくに女性に対する差別の根絶と女性の地位向上は急務でした。日本は、採択5年後の1985年(国連婦人の10年最終年)、国内法の一部を整備して、ようやく批准にこぎつけました。

この条約は、政治・経済・社会・文化など生活のあらゆる分野で男女平等を達成するために、必要な措置をとるよう定めています。例えば、男性と女性に等しい就職の機会と待遇を義務付けだ「雇用機会均等法」は、その流れの中で出来上がったものの一つです。また、条約締約国には定期的に男女平等に向けた取組を報告する義務があり、「女子差別撤廃条約」は、今も社会の動きにあわせて身近に息づいています。

フレンテみえのホームページ「参画ゼミ」でも「女子差別撤廃条約について」を掲載していますので、是非ごらんください。 ホームページアドレス <http://www3.center-mie.or.jp/center/woman/>

レビュー

5.6-6.10

自己尊重トレーニング

講師は、赤澤ヒロ子さん。参加者は自分を大切にし、自分を信頼する力を育てるための講義やロールプレイに取り組みました。

5.8

フレンテまつり実行委員会



登録団体の方の運営により6月17、18日に開催された「フレンテまつり」の実行委員会を開催しました。

5.11-6.8

自己主張トレーニング

参加者は講師の加藤伊都子さんの親しみやすい人柄に助けられながら、日常生活の中での伝え方を練習しました。

5.14

男性講座サポーター会議

交流会をかねて、過去の男性講座受講者の皆さんと今後のサポーター活動について話し合いました。

5.21

託児ボランティア会議

フレンテみえの託児を支える託児ボランティアさんが集まり、今年度の託児をよりよくするための意見交換をしました。

5.28

男性講座専門コース

第1回「対人援助のトレーニング」

講師に味沢道明さんを迎え、男性相談の意味やカウンセリングについて学びました。

プレビューで紹介した事業には託児がついています。 問合せ・申込み
●託児年齢:1才6ヶ月～未就学児 フレンテみえ TEL 059-233-1130
●託児料:1回500円/1人
●申込締切:講座日の2週間前

6.11

講座「三重の女性史を作ろう」 第1回「過去の女性を生きかえらせる意味」

講師の伊藤康子さんの講義により、女性史の歴史や魅力について学びました。

6.17-18

フレンテまつり

17日は、登録団体の活動発表として、展示やフリーマーケット、アニメ上映などが行われました。

18日のドキュメンタリー映画「ベアテの贈りもの」上映と藤原智子監督講演会や、子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主増田喜昭さんの「ひげのおっさんとあそぼう」も大盛況でした。

プレビュー

7.2-30

男性講座一般コース 「大人の時間の楽しみ方」

「定年退職」を焦点に、肩書きをはずしたこれからの生き方を考えます。
◆申込は締め切りました。

7.9

講座「三重の女性史を作ろう」 第2回「三重の女性史を書きあげるために」

講師の伊藤康子さんの講義により、女性史作成のための手法を学びます。

- 講師:伊藤康子さん
(愛知県史編さん委員会専門委員、愛知女性史研究会会員、元中京女子大学短期大学部教授)
- 日時:7/9 13:30~15:30
- 場所:フレンテみえ セミナー室A
- 対象:県内在住、在勤、在学の男女。
- 受講料:無料
- 定員:50名

9.3-12.17

フレンテみえエンパワーメント・スクール

「女性のライフサイクル研究コース ～わたしの問題を読み解くために～」

母との関係、結婚、出産、育児、仕事、介護など、人生に起こる様々な課題を各専門講師とともに考えてみませんか。

- 日程:9/3・10、10/1・8・15、11/5、12/3・17(全8回、10:30~12:30)
- 場所:フレンテみえ セミナー室C他
- 対象:原則として県内在住、在勤、在学の女性。県外の方はご相談ください。
- 受講料:4,000円、1回毎の受講は800円/回
- 定員:30名(6月21日受付開始。先着順。定員になり次第締切)

「CRグループ運営コース～体験で学ぶファシリテート～」

女性どうしの語り合い活動「CRグループ」について、ファシリテーターの役割、テーマ設定のしかた等、運営のノウハウを実習を通して具体的に学びます。

- 講師:加藤伊都子さん(フェミニストカウンセラー)
- 日時:9/10・17、10/1・15・22・29、11/12、12/10(全8回、13:30~15:30)
- 場所:フレンテみえ サークル室
- 対象:原則としてCRグループの経験のある県内在住、在勤、在学の女性。県外の方はご相談ください。
- 受講料:16,000円
- 定員:12名(6月21日受付開始。先着順。定員になり次第締切)

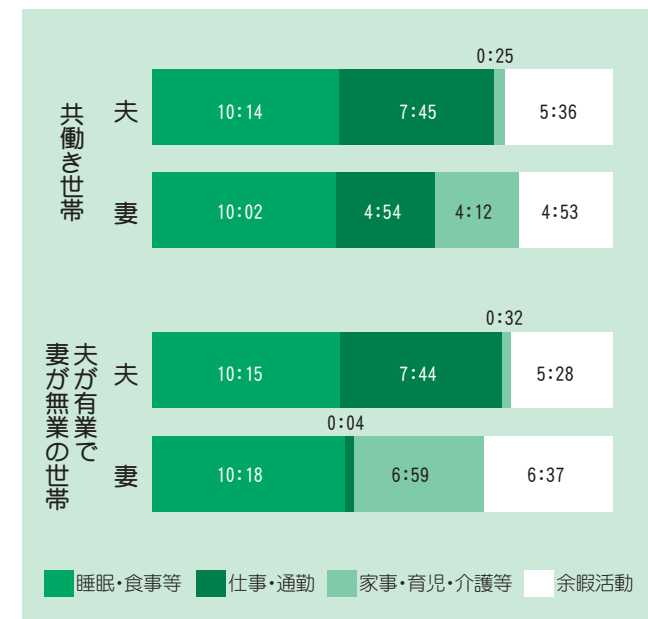
ピックアップ

情報コーナーがリニューアル!

さらにわかりやすく、さらに使いやすくなりリニューアル。
毎月様々な展示を行っています。
是非、お立ち寄りください。

プチグラフ

「夫婦の生活時間」



(備考)総務省「社会生活基本調査」(平成13年)より作成。

男性の家事・育児・介護等の時間は女性と比べ、非常に短くなっています。そして共働き世帯においても家事等は、妻が行っており、女性に家事・育児負担が大きく偏っています。

(内閣府男女共同参画局2004年8月発行『男女共同参画社会の実現を目指して』9頁より作成)

情報誌「Frente」についておたずねします。

1. どれくらいの頻度で読みますか?

- 初めて読む 時々読む 毎月読む

2. この号を、どこで手に入れましたか?

- 三重県総合文化センター(フレンテみえ等) 県庁・県民局・役場
 図書館 病院 音楽・演劇ホール
 個人登録 団体登録 男女共同参画推進委員
 その他 ()

3. 内容はどうでしたか?

- 満足 ほぼ満足 やや不満 不満

4. 良かったものは何ですか? (複数可)

- 表紙デザイン 巻頭エッセイ Report チャレンジ
 Focus 市町村からこんにちは ひとくち情報
 レビュー・プレビュー プチグラフ
 Book&Video フレンテみえから

5. 巻頭エッセイとプチグラフをご覧いただけましたか? 仕事・家事・余暇のバランスについてご意見・感想をお寄せください。

6. 情報誌で取り上げて欲しいテーマをお寄せください。

※平成17年7月31日までにご投函ください。

フレンテみえホームページ リニューアル!

知りたい、学びたい気持ちを応援します!

- フレンテみえの講座に参加したい!
フレンテの事業・講座が検索できます。
- 今月はどんなイベントがあるんだろう?
登録団体のイベントや県内外のイベントが検索できます。
- 男女共同参画について勉強してみたい。
「参画ゼミ」「まめ知識」で家でも学べます。

新しい情報がいっぱい!



すぐにアクセス!

<http://www3.center-mie.or.jp/center/woman/>
ホームページアンケートにもご協力ください。

切り取り線

郵便はがき

料金受取人払

津中央局承認

1074

差し出し有効期限
平成17年7月31日
まで(切手不要)

514-8790

三重県津市一身田上津部田1234

三重県総合文化センター
三重県男女共同参画センター 行



市町村名

性別

男 ・ 女

年齢

歳代

フレンテみえ登録団体の方は必ず団体ID・団体名をお願いします

ID

団体名

フレンテみえからのお知らせ

●情報誌Frenteが新しくなりました!

1ページ目に巻頭エッセイを加え、読み物として充実を図りました。男女共同参画に初めてふれていただく方、フレンテみえの事業に関心のある方、もっと知りたい方まで幅広く読んでいただける情報誌を目指していきます。さらによりよくするために、読者の皆様のご意見をお待ちしています。添付のアンケートはがきにご記入の上、7月31日までに投函してく

●キャッチコピーのご応募ありがとうございました

vol. 20で募集した男女共同参画をわかりやすく表現したキャッチコピー募集に、32通のご応募をいただきました。その中から、大賞1作品、入賞3作品を決定しました。キャッチコピーは、今年度情報誌Frenteへの掲載とフレンテみえの事業で使用させていただきます。また、受賞者の方と、「早かったで賞」として3月到着分の中から抽選で選ばれた1名の方に、映画「ベアテの贈りもの」チケットを送付させていただきました。今後も男女共同参画に関する川柳や俳句など、様々な作品募集を行っていく予定です。お楽しみに!



大賞「認め合う 個性がキラリ! 参画社会」
(鈴鹿市在住、男性の作品)

入賞「新しい時代 新しい幸せのかたち ~男女共同参画~」
入賞「“知る”ことから始まる新しい未来 ー男女共同参画ー」
入賞「自分が自分らしく輝ける社会をめざして」

※なお応募作品の権利はフレンテみえに帰属することになります。

Book & Video

フレンテみえでは
5か年かけて
女性史を作成します!



図書
『日本女性史事典コンパクト版』
女性史事典編集委員会/編
新人物往来社 2002年8月

女性は歴史の創造者であった。人名、作品、服装、労働、信仰、習俗、芸能、伝承、性、愛、法制度、事件、寺社、遊藝、女人禁制など、1,181語を収録。



図書
『闘う女性の20世紀
地域社会と生き方の視点から』
伊藤康子/著
吉川弘文館 1998年6月

経済大国と呼ばれる現代の社会でも、女性はまだまだ生きにくい。自立・平等を願う女性は20世紀をどのように暮し、何をしてきたのか。地域での生き方と中央の動きを見通して描く、幸せを求め続けた女性の100年。

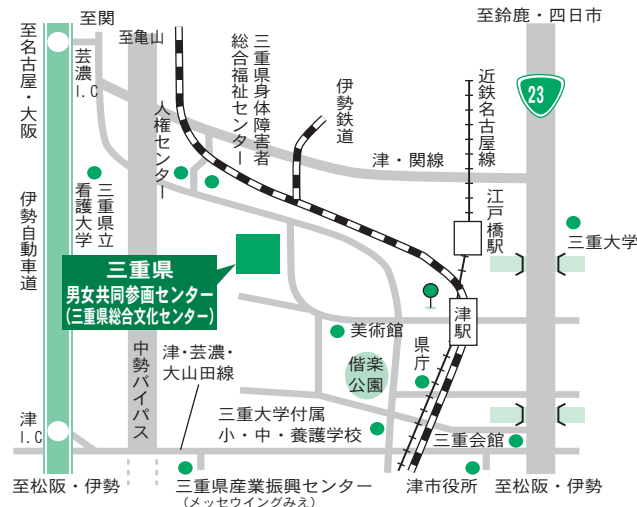


ビデオ
『(改訂版) 根絶! 夫からの暴力 '04 あなたは悩んでいませんか?』
内閣府男女共同参画局/企画
社団法人日本広報協会
2004年

2001年に制作した『根絶! 夫からの暴力~あなたは悩んでいませんか?』の内容を「配偶者暴力防止法」が改正されたことを受けて一部改正したものです。

講座「三重の女性史を作る」
講師の著書です。

三重県男女共同参画センター までのご案内



休館日 毎週月曜日
年末年始
(12月29日から
1月3日まで)

交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。



三重県総合文化センター 三重県男女共同参画センター フレンテみえ

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL : 059-233-1130 FAX : 059-233-1135
URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/woman/>
E-mail : frente@center-mie.or.jp

フレンテみえ プチイベント情報

フレンテみえに宝島出現!? M祭! ウォークラリー「やっほ~! フレンテ宝島」

三重県総合文化センターの夏のお祭り「M祭!」が開催されます。2003年、2004年ともに大人気のイベント「やっほ~! フレンテ宝島」が今年もフレンテみえにやってきました。今年は大学生と一緒に企画していきます。子どもたちが遊びながら楽しく男女共同参画を学べるウォークラリーで、フレンテみえの夏を体験しよう!

日時:8月7日(日)10時~17時
(受付10時~16時30分)

場所:「フレンテみえ」
多目的ホールほか

定員:先着順(当日受付)

料金:無料

問合せ先:フレンテみえ
(TEL 059-233-1130)

